

(佐藤先生)

授業科目名	担当教員名	授業実施日	※
学問の面白さを知る	天野政千代	5月 ²⁰ 日(火)	
学生番号	学部・学科	学年	氏名
07080002-2	医・医	1年	赤坂茉莉子

「中世ヨーロッパの修道院文化 古書はどのようにして現存するか伝えられたのか」
印刷技術の発達した現代では、1つの原書から何千、何万と
いうコピーも短時間で作ることが可能であるの？ 一冊の本を
後世に残すことはそれ程難しくはない。しかし、もちろんコピー機などはない
時代では同じ本を作る手段は人の手。一字一句写していくしか
ない。当然、写し間違いが起るし、また何らかの思惑があって
意図的に元の文とは異なる様に写すこともあるかもしれない。その上には、
誕生起源が同じなのに他とは異なる特徴をもった本が複数
作られて現代に残るというのは、どこか生物の進化の様子に似ているかもしれない。
さて、偶然であれ意図的であれ生じた相違点は、それを分析することで当時の
時代背景を知る手がかりとなる。人の手作業の結果が、今の世で立派に
学問として成り立つということは、考えれば非常に興味深いことだと思う。
二世紀ごろまでは「B」は「d」と書いていたという。こんな文字一つで
その写本の書かれた時代を伝えられる。電卓本も良いかもしれない
が、アナログ本は必ず何らかの物語や人の手を介しているという
だけでなく、はかりしれない程大きな価値を秘めているのではないだろうか。